

授 業 目 名	作 業 療 法 理 論	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	3 年 (前 期)
担 当 教 員 名	北 岡 裕 也	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 作業療法の歴史を知り、作業療法哲学やより深い理解とその解明について考える。</p> <p>〔学習目標〕 事例紹介から作業療法の実践を知る。作業療法の理論を学び、専門職に必要な知識母体の補強と理論的着想の豊かさの認識、そして作業療法は「応用の学」であることを知る。多くの臨床家・研究者の主張を知り、また、関連領域にも目を向け、問題意識を持ち、考察を深めることで作業療法の進むべき道と課題を知る。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	作業療法の源流・作業療法の発展と関連領域のトピックス		
第 2 回	作業療法の実践：事例紹介		
第 3 回	作業療法の枠組み		
第 4 回	作業療法モデル論		
第 5 回	地域作業療法の実践について①		
第 6 回	地域作業療法の実践について②		
第 7 回	他職種との連携・チームアプローチ		
第 8 回	身体領域の作業療法：今日的トピック		
第 9 回	精神領域の作業療法：今日的トピック		
第 10 回	症例研究：クリニカルリーズニング		
第 11 回	症例研究：クリニカルリーズニング		
第 12 回	吸引研修①		
第 13 回	吸引研修②		
第 14 回	管理・運営(安全管理含む)		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	レポート(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕なし		
履 修 上 の 留 意 点	文献抄読とグループ討論を中心にすすめる。		
メ ッ セ ー ジ	理論を学ぶためには、事例を通したクリニカルリーズニング、書き手が伝えたかったことについて学生間で意見を交わし他者の意見を聞くなどを繰り返すことによって考察を深めていく過程が重要になるでしょう。		